



トイレ改修で、授業への集中力UP！

片田 小学校

三重県
津市

温水洗浄付き便座も 今や当たり前

「改修前のトイレは、それほどひどい状態でした」

と語るのは、津市立片田小学校の堀内美秋校長先生です。

以前は、ハイタンク式で時間になると一斉に水が流れるタイプの小便器。トイレの外にまで臭いが漏れ、和式便器周辺には、排泄物の飛び散りも絶えない状態でした。PTAの方が見かねて、有志で掃除を買って出るとほどの状態だったと言います。

3Kに加えての慣れない和式で、家に帰るまでトイレをがまんする子どももいました。

「がまんしながら受けるのと、すっきりして受けるのでは、



里山に囲まれた美しい場所にある片田小学校。地域には30以上のため池が点在する。

やはり授業への集中度が違うと思われまます。ですから、トイレ改修の話聞いたときはうれしかったですね。しかも、洋式便器だけでなく、暖房や温水洗浄機能のついた便座を導入してもらえると聞き、子どもたちにとって本当にありがたいと思いました」（堀内校長先生）

「温水洗浄便座のついた便器も家庭でだいぶ普及していますので、今回、採用することに決めました」（教育委員会）

工事が決まると、学校側は、行事の見直しをしました。主な工事は夏休み期間中でしたが、体育館なども含めた最終的な引き渡しは10月。工事車両の出入りがあるため、秋の運動会を春に前倒しするなど、子どもたちの安全に配慮しました。

トイレ改修で 光熱費の大幅な節約に

「改修工事が終わってから気づいたのですが、トイレ内を人感センサーの照明にしてもらったことで、子どもが万一トイレで倒れていた場合などのサインにもなります。命への大きな配慮ですね」と堀内校長先生。

人感センサーは、電気のおかげで放し防止により、省エネにも一役買います。

「水回りの光熱費の省エネに関しては、これまで耐震工事に合わせてトイレ改修を実施した市内の例で、年間で電気代が数万円、水道代に関しては30万円ほど安くなったケースがありました。津市には市立の小・中学校

が73校ありますので、トイレ改修による節水効果はかなり期待できそうです」（中西副主幹）

体育館には、多機能トイレの設置と同時に、進入経路になる出入口付近に、スロープも設置。「学校は、地域の方も利用します。中には高齢の方もいらっしゃいます。車いす利用の場合は、これまで段差をなくすための台を運んでいました。今回のトイレ改修は、地域の方も喜んでいます」（堀内校長先生）

トイレの改修後、PTAや地域の方々など、各方面から喜びの声が聞こえてくると思います。「何よりも、きれいなトイレは子どもたちの幸せにつながります。少しでも多くの古い学校トイレが、新しく改修されるといいですね」（堀内校長先生）



BEFORE

子どもが怖がる暗い雰囲気のトイレ。



ハイタンク式の小便器。PTAも思わず掃除を申し出た劣悪なトイレ。



AFTER

水栓も照明も自動。真っ白な洗面台で清潔感あふれるトイレ空間。姿見も大きく見やすい。

津市共通の大便器。洋式になり、トイレに行く子どもたちも増えた。



多機能トイレが設置された周囲は、スロープをつけるなど進入経路にも配慮がなされた。

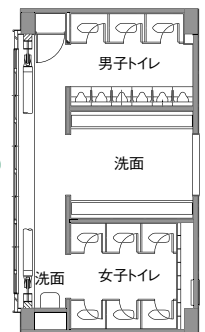
オストメイトにも対応するなど、スペースの許す限り、トイレの多機能化を目指した。

DATA

- 竣工年月 / 2013年10月
- 所在地 / 三重県津市 片田井戸町22
- 児童数 / 174名(2013年)
- 施主 / 三重県津市
- 設計 / (合) 重企建築事務所
- 施工 / (株) ジェイエイ津安芸



1階
西トイレ



～ 改修後 ～

～ 改修前 ～

※片田小学校の体育館トイレは23ページを参照ください。